

## 高齢者あんしん相談センター活動計画(令和5年度)

## 《高齢者あんしん相談センターみずほ苑》

## 1 日常生活圏域（第4圏域）

(令和5年4月1日現在)

町会名	町会別人口	65 歳以上人口	高齢化率	75 歳以上人口(再掲)	後期高齢化率
鶴瀬西1丁目二葉町会	2,365	482	20.4	261	11.0
鶴瀬西1丁目西町会	561	125	22.3	79	14.1
関沢2丁目東町会	1,706	476	27.9	276	16.2
関沢2丁目旭町会	3,031	771	25.4	450	14.8
関沢3丁目東町会	3,729	1,040	27.9	645	17.3
関沢3丁目西町会	1,413	407	28.8	262	18.5
西みずほ台1丁目南町会	1,838	468	25.5	254	13.8
西みずほ台2丁目町会	1,333	273	20.5	154	11.6
西みずほ台3丁目町会	1,188	381	32.1	248	20.9
針ヶ谷1丁目町会	3,342	610	18.3	320	9.6
針ヶ谷2丁目町会	2,131	361	16.9	163	7.6
合 計	22,637	5,394	23.8	3,112	13.7

## ＜圏域の特徴＞

西みずほ台地区・鶴瀬西地区は駅に近く、スーパーや病院などが多い地域ですが、みずほ台地区はエレベーターのないマンションなどもあり、高齢化率が高いです。また、関沢地区は住宅街が立ち並び、道が狭く、坂なども見られる地域で買い物などに不便な面があります。針ヶ谷地区は、昔ながらの地主の方が多く、周辺には畑が広がっています。

## 2 施設など

介護老人福祉施設（密着型を含む）	1	通所介護（密着型を含む）	4
介護老人保健施設	0	認知症対応型通所介護	1
特定施設（有料老人ホーム）	1	通所リハビリテーション	0
認知症共同生活介護（グループホーム）	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
小規模多機能型居宅介護	1	公民館・交流センター等	3
居宅介護支援事業所	8		

## 3 令和4年度活動評価及び課題

## ＜評価＞

令和4年度はコロナ感染対策に気を付けながら、一人暮らし、高齢者世帯等へ直接訪問する、実態把握の機会を増やしました。

また、令和2年に埼玉県ケアラー支援条例が制定され、地域包括支援センターとしてケアラー、ヤングケアラーに対しての支援体制を整備することが重要となっています。みずほ苑では、介護者教室にて「ケアラー支援について」講座を開催し、ホームページ上のケアラー支援窓口を設け、メールでの相談ができるよう

体制を整えました。

#### <課題>

令和4年度、介護者の健康状態や生活環境等を考慮し、状況に応じた相談体制を整えるため、メールで相談ができる体制を整えましたが、実際の相談件数は数件のみでした。周知活動を行っていく必要性を感じています。

また、ケアラー・ヤングケアラー支援の周知活動については、引き続き行っていくとともに、特にヤングケアラーの周知ができるよう学童や学校関係に働きかけていく必要があると思っています。

### 4 令和5年度活動計画

#### (1) 総合相談支援業務

- ・高齢者世帯に対し、チラシの配布を行い、地域包括支援センターの周知活動に努めます。
- ・年に2回集中的に地域で見守りが必要な高齢者世帯を訪問し、声掛け・様子の確認を行っていきます。
- ・民生委員との交流や関係強化を図ります。

#### (2) 権利擁護業務

- ・高齢者虐待の早期発見、早期対応に努め、把握時には市役所と連携を図りながら速やかに対応を行います。
- ・成年後見制度の利用について、成年後見センターふじみ等関係機関と連携を図り対応いたします。
- ・消費者被害防止の啓発活動を行っていきます。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・居宅介護支援事業所に対して困難事例に対する支援や情報交換の場（ケアマネサロン「クラージュ」）の提供、他包括と共同開催する研修会等を実施し、ケアマネジャーのマネジメント力の向上とネットワーク強化を図ります。

#### (4) 介護予防ケアマネジメント

- ・一人ひとりの状況に合わせ、維持改善が図れるように自立支援に向けた介護予防サービス計画を作成いたします。
- ・一般介護予防事業を担当する市健康増進センターと連携をし、介護予防の啓発に取り組みます。

#### (5) 地域ケア会議の実施

- ・地域の課題を解決に向けて検討する地域ケア会議を年3回実施します。
- ・個別会議を開催し、ケアマネジャーが自立支援に資するケアプラン作成につながる実践力やアセスメント力の向上を図ります。

#### (6) 認知症総合支援業務

- ・当事者やそのご家族、地域の方が集える場「オレンジカフェ」を年に6回開催します。認知症サポーター養成講座も地域で行います。また、必要に応じ認知症初期集中支援チームと連携・支援を行います。「チームオレンジ」の構築に向けて、高齢者福祉課や関係機関等と協働しながらすすめていきます。

(7) 医療と介護の連携

- ・入退院支援ルール在宅ワーキングチーム等に参加し、連携がスムーズに行える体制作りを行っていきます。

(8) 生活支援体制の充実に向けたニーズの把握

- ・高齢者が住みやすい地域作りに向けて、生活支援コーディネーターと連携し活動いたします。

(9) 家族介護者支援

- ・介護者の健康状態や生活環境等を考慮し、状況に応じた相談体制を整えます。
- ・ケアラー、ヤングケアラー向けのチラシを作成し、配布・回覧いたします。

(10) その他

- ・各職員の資質向上のため、研修に積極的に参加いたします。
- ・感染症・災害への対応力強化の為、事業継続計画（BCP）の作成を行います。